

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 札幌のぼりべつ会交流事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	3	札幌圏・首都圏における交流拠点の整備
事務事業番号	003	事務事業コード 62113003 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	予算書上の事務事業名
------	------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌のぼりべつ会会員（登別にゆかりのある札幌圏に居住する個人及び札幌圏に所在する法人）</li> <li>市内商工関係者等</li> </ul>
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>札幌圏に居住し、登別にゆかりのある個人（法人）により組織される「札幌のぼりべつ会」に対して、市の窓口として事務的な支援を行う。 具体的には札幌のぼりべつ会に対する市の情報提供を行うほか、札幌のぼりべつ会の関連事業（総会、交流会、親睦事業等）への参加者の取りまとめや資料の作成などの事務を札幌のぼりべつ会の事務局とともにを行う。</p> <p>(平成 2 1 年度の札幌のぼりべつ会の主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親睦事業 平成 2 1 年 5 月 1 5 日 (金)</li> <li>役員会 平成 2 1 年 7 月 2 3 日 (木)</li> <li>経済交流会 平成 2 1 年 8 月 2 5 日 (火)</li> <li>親睦事業 平成 2 1 年 9 月 1 1 日 (金)</li> <li>総会 平成 2 1 年 1 1 月 2 0 日 (金)</li> <li>交流プラザ 平成 2 1 年 1 1 月 2 0 日 (金)</li> <li>交流会 平成 2 1 年 1 1 月 2 0 日 (金)</li> </ul>
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>各種事業を通じて札幌のぼりべつ会の会員同士や登別市商工関係者等との交流により、登別の経済発展が図られる。</p>
根 拠 法 令 等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>札幌のぼりべつ会会則</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	総会・交流会・交流プラザ等札幌のぼりべつ会が開催する行事の参加者数	人	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	83				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				0	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	615	644			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		615	644			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 今後も各種情報提供や登別の経済関係者との交流調整等を市が支援していく必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 会員と登別経済界との交流が継続的に行われている。また、会からの提言により事業展開が図られている。なお、当会は登別にゆかりのある会員構成となっていることからふるさと納税の協力が得られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会が、活性化するための取り組みに向けた検討がされていること、登別の経済関係者との交流などの取り組みを進めることで、登別の発展に寄与することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 事務に係る人件費については、札幌のぼりべつ会事務局との共同作業であり、必要最低限のものとなっている。

## 担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	札幌のぼりべつ会は、会員の拡大や会の活性化、地元登別に対する地域貢献策を検討するとともに、登別のまちづくり団体や観光協会などと意見交換を行う交流プラザを開催するなど、登別市の発展に寄与しているため引き続き支援をする必要がある。
----	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）